



デイヴィッド・ルッドマン、スコット・スタンドレー、サンジーヴ・シャルマ共著
2006年8月

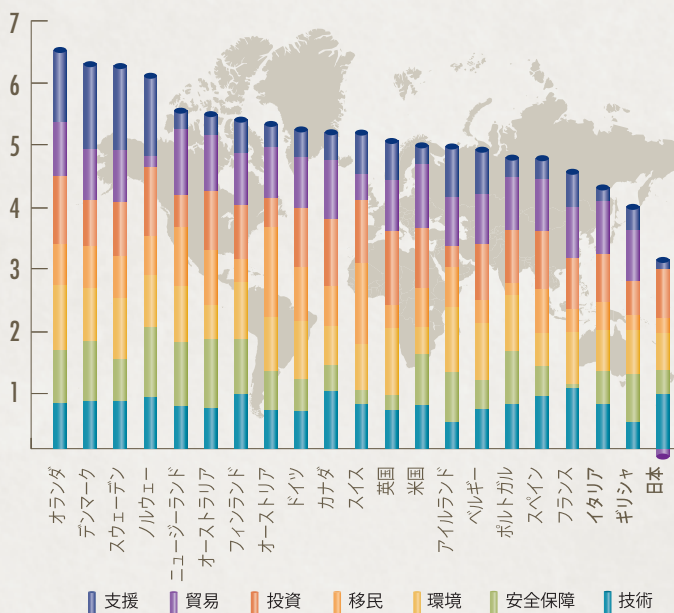
開発貢献度指標(以下「CDI」)は、世界の最富裕国21ヶ国を、各国の貧困国の便益を図る政策への献身度に基づいて順位付けしたものです。CDIは、海外支援資金の単純比較ではなく、開発途上国にとって重要な7つの政策分野、すなわち支援、貿易、投資、移民、環境、安全保障、および技術における、国家的な取り組みを測定します。本報告書では、日本の2006年度CDI実績を検討します。

日本の2006年度CDI実績

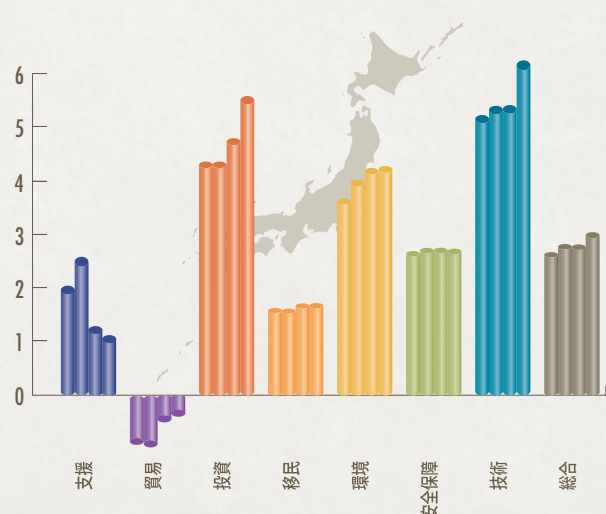
- ▶2006年度総合順位: 第21位
- ▶2006年度総合得点: 3.1
- ▶2003年度比増減: +0.4(2006年現在の手法を使用)

日本の2006年度順位は第21位でした。開発途上国から日本への輸出障壁(主として米の輸入関税)はCDI対象国の中でも最も高く、日本の海外支援は所得当たりの金額において最も少なく、さらに、貧困国の観点から見た環境対策においても実績が乏しく、受け入れ移民数も極少数に限っています。日本の最大の開発貢献は、研究開発への政府援助および貧困国への投資促進政策に見られます。

2006年度開発貢献度指標



日本のCDI実績 2003年度~2006年度



支援

支援の質は支援の量と同様に重要なものです。したがって CDI は、様々な質的要因を織り込んで、対GNI比総支援額を測定します。すなわち CDI は、債務返済を差し引き、支援対象国に対して支援国の物品およびサービスのみを支出させるような「タイアップ」支援に罰点を与え、貧困ながらも腐敗度の比較的低い支援対象国への支援に得点を与え、貧困国政府に多数の小規模プロジェクトで負担をかけることに罰点を与えます。

- ▶ 得点: 1.1
- ▶ 順位: 第 21 位

長所

- 全面的タイアップ支援および部分的タイアップ支援の比率が少ない (6%、順位は第6位)

短所

- 経済規模と比較した正味支援が非常に小額である (0.14%、第21位)
- 税制の問題のため、民間慈善寄付金が小額である (対GNI比率による順位は第16位)
- プロジェクトの増殖・拡散を許している、プロジェクトの平均規模が小さい (順位は第15位)

貿易

国際貿易は、何世紀にもわたり経済発展の原動力となってきました。CDIは、開発途上国からの輸出に対する富裕国の貿易障壁を測定します。

- ▶ 得点: -0.4
- ▶ 順位: 第 21 位

長所

- 農業助成金が少ない (順位は第2位)

短所

- 農産物の保護度が全体的に高い (第21位)
- 農産品に対する関税が高い (第21位)
- 衣類に対する参入障壁が高い (第17位)

投資

富裕国の貧困国への投資は、技術の移転、経営陣の向上、雇用の創出を可能にします。CDIには、開発途上国への健全な投資を支える政策に関するチェックリストが含まれます。

- ▶ 得点: 5.6
- ▶ 順位: 第 15 位

長所

- 政治リスクに対して保護範囲の広い公的保険を提供している
- 海外で稼得された企業の利益に対する二重課税を防止するために外国税額控除を採用している

短所

- 新興市場の年金基金への投資に制約を課している
- 自国企業の海外における贈収賄・腐敗行為の摘発を怠っている

移民

貧困国から富裕国への人の移動は、技能のない移民に職、収入、知識を提供します。このことは、海外に住む移民の本国送金による資金の流れを増大し、移民が帰国した時の技能の移転を促進します。

- ▶ 得点: 1.7
- ▶ 順位: 第 19 位

長所

- 開発途上国からの外国人学生の割合が高い (96%、順位は第2位)
- 外国人学生の学費が国民である学生の学生と同額である

短所

- 1990年代に日本国内に在住する開発途上国からの技能のない移民の数が減少した (人口に対する比率による順位は第21位)
- 2004年中に日本に入国した開発途上国からの移民の数は極少に留まった (人口に対する比率による順位は第16位)
- 人道的危機に際しての難民受け入れ分担が少ない (第21位)

環境

富裕国は乏しい資源を過度に利用している一方、貧困国は地球温暖化と生態環境悪化に対して最も脆弱です。したがってCDIは、地球の気候、漁業、およびバイオダイバーシティ (生物多様性) に関する政策の影響力を測定します。

- ▶ **得点: 4.3**
- ▶ **順位: 第18位**

長所

- 国民1人当たり温室効果ガス排出量が小さい (二酸化炭素同等物の排出量: 11トン、順位は第7位)

短所

- 1994年から2004年までの温室効果ガス排出量の減少率が低い (平均年間成長率/PPP GDP: -0.7%、順位は第18位)
- ガソリン税率が低い (第17位)
- 国連漁業協定を批准していない
- 熱帯雨林材の輸入量が多い (第21位)

安全保障

安全保障は開発の前提必須条件であることから、CDIは、国際的に認可された平和維持活動や強制执行的な人道主義的介入への貢献に得点を与え、世界中の海上航路の軍隊による防護に得点を与え、貧困政府および非民主主義政府への兵器輸出に罰点を与えます。

- ▶ **得点: 2.8**
- ▶ **順位: 第18位**

長所

- 貧困政府および非民主主義政府への兵器輸出が皆無である (対GDP比率順位は第1位)

短所

- 国際的に認可された平和維持および人道主義的介入への財的および人的な貢献度が低い (対GDP比による過去10年間の全体的貢献度の順位は第21位)
- 世界中の海上航路を防護していない

技術

富裕国は、新技術の創出およびその拡散を通じて開発に貢献できます。CDIはこの点を、研究開発に対する政府支援を測定し、新技術の貧困国への拡散を制限するような厳格な知的所有権制度に罰点を与えることにより、把握します。

- ▶ **得点: 6.3**
- ▶ **順位: 第3位**

長所

- 企業の研究開発に対する税補助金 (税控除) の比率が高い (第7位)
- 開発途上国との二国間自由貿易協定への「TRIPSプラス」政策の組み込みを試みていない

短所

- 植物品種および動物品種への特許付与を許可している
- ソフトウェア・プログラムへの特許付与を許可している
- 著作権対象デジタルコンテンツの暗号を破れる迂回禁止対象技術に対して厳重な制限を課している

背景情報報告書および寄稿者

www.cgdev.org/cdi にてデイヴィッド・ルッドマン 著の『The Commitment to Development Index: 2006 Edition (開発貢献度指標2006年度版)』をご参照ください。このウェブサイトにはさらに、各政策分野に関する背景情報報告書が掲載されています— 海外支援: デイヴィッド・ルッドマン、貿易: ウィリアム・R・クライン、投資: セオドア・H・モラン、移民: エリザベス・グリーコおよびキンバリー・A・ハミルトン、環境: エイミー・カッサラおよびダニエル・プレイヤー、安全保障: マイケル・E・オハロンおよびアドリアナ・リン・デ・アルバカーキ、技術: キース・マスカス

2006年度開発貢献度指標(CDI)

CDI政策分野別得点										
国名	順位	支援	貿易	投資	移民	環境	安全保障	技術	総合得点	2003年度比増減
オランダ	1	8.5	6.2	7.8	4.8	7.5	6.1	5.3	6.6	-0.1
デンマーク	2	10.0	5.9	5.3	5.0	6.1	6.9	5.5	6.4	-0.6
スウェーデン	3	9.8	6.1	6.2	4.8	7.0	4.9	5.4	6.3	+0.4
ノルウェー	4	9.3	1.2	8.0	4.6	6.1	8.1	5.9	6.2	+0.3
ニュージーランド	5	2.2	7.6	3.7	6.9	6.4	7.4	4.9	5.6	-0.3
オーストラリア	6	2.5	6.4	6.9	6.4	3.9	8.1	4.6	5.5	-0.3
フィンランド	7	3.9	6.1	6.2	2.7	6.7	6.3	6.3	5.4	+0.2
オーストリア	7	2.7	5.9	3.3	10.5	6.2	4.5	4.5	5.4	+0.1
ドイツ	9	3.3	5.9	6.8	6.2	6.7	3.7	4.3	5.3	-0.1
カナダ	10	3.3	6.8	7.7	4.7	4.5	3.0	6.6	5.2	+0.3
スイス	10	4.8	3.1	7.2	9.5	5.3	1.6	5.1	5.2	-0.1
英国	12	4.6	5.9	8.6	2.6	7.8	1.6	4.5	5.1	+0.5
米国	13	2.2	7.4	6.9	4.6	3.2	5.9	5.0	5.0	+0.5
アイルランド	13	5.9	5.7	2.5	4.6	7.5	5.9	3.0	5.0	+0.3
ベルギー	15	5.1	5.9	6.5	2.6	6.6	3.4	4.5	4.9	+0.1
ポルトガル	16	2.3	6.1	6.2	1.4	6.4	6.2	5.1	4.8	+0.4
スペイン	16	2.5	6.0	6.7	5.2	3.8	3.5	6.1	4.8	+0.9
フランス	18	4.1	6.0	5.9	2.6	6.1	0.5	6.9	4.6	-0.1
イタリア	19	1.6	6.1	5.5	3.2	4.8	3.9	5.1	4.3	+0.3
ギリシャ	20	2.7	5.9	4.0	1.7	5.2	5.6	3.0	4.0	+0.3
日本	21	1.1	-0.4	5.6	1.7	4.3	2.8	6.3	3.1	+0.4

この表は、CDI対象21ヶ国を、各国の7つの政策分野別の得点を示し、順位付けしたものです。一国の総合得点は、7政策分野での得点の平均値です。最も右の列は、CDIが2003年に開始されて以来の各国の総合得点の増減を、2006年度の手法を用いて、示したものです。

CGDのウェブサイト (www.cgdev.org/cdi) には、CDI対象21ヶ国の各国に関する報告書、ならびにグラフ、地図、スプレッドシート、背景報告書が掲載されています。

開発貢献度指数は、綿密な研究と政策立案者への活発な関与を通じて米国および他の富裕国の政策変更を奨励することにより世界の貧困および不平等を軽減することに取り組む独立系シンクタンクである世界開発センター (Center for Global Development、以下「CGD」) が設計しました。

開発貢献度指標の設計者であるデイヴィッド・ロッドマンは、CGDのリサーチフェローです。

www.cgdev.org

Center for Global Development

世界の繁栄のための独自の研究と実地的なアイデア

1776 Massachusetts Ave., NW • Third Floor • Washington, D.C. 20036

電話:(+1) 202 416 0700 • ファクシミリ:(+1) 202 416 0750